

革新的技術開発・緊急展開事業（うち先導プロジェクト）「要求性能に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から建築部材の強度を予測する技術の開発」公開シンポジウム

令和の大径材はおもしろいわ

平成初期は間伐材など小径材が注目され、樹木が成長して中目材が中心となり、後期には大径材の供給が増えてきました。しかし、大径材は強度等の品質のばらつきや安定供給への不安などから、売れない、扱いたくない、すなわち、おもしろくない存在でした。時代は令和となりました。おもしろくなかった大径材が関係者の興味をひく「おもしろい」存在になってほしいと願っています。

森林総合研究所を中心とした研究コンソーシアム「大径材強度予測共同研究機関」では、大径材の需要拡大のため、2016年度から丸太段階で製材品の強度を予測する技術を開発する研究プロジェクトを実施してきました。大径材から国産材シェアの低い梁・桁材や枠組壁工法用部材を効率よく生産し、一般住宅や中大型建築用部材の安定供給を実現して大径材の需要を拡大することが目標です。今回、最終年度を迎えた本プロジェクトの研究成果を広く皆様に知っていただくため、オンラインによる公開シンポジウムを企画しました。大径材が「おもしろい」存在となるよう、ご参加いただいた皆様とともに考える機会となれば幸いです。木材の研究、木材産業に携わる方はもちろんのこと、一般の方々の参加も心よりお待ちしております。

共催：大径材強度予測共同研究機関、（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所、
（国研）農研機構生研支援センター（予定）

後援：（公社）日本木材加工技術協会（予定）、（公社）日本木材保存協会（予定）

日時：2021年3月8日（月） 13:15～16:45

会場：森林総合研究所YouTubeチャンネル（オンラインライブ開催）

URLは事前登録された方へお知らせします。後日録画配信も行います。

会費：無料

申し込み：森林総研ホームページ（<https://www.ffpri.affrc.go.jp/index.html>）

または右のQRコードからお申し込みください。

締め切り：2021年3月5日（金）

次第：

- | | | |
|-------------|----------|--|
| 13:15～13:20 | 開会挨拶 | （国研）森林研究・整備機構森林総合研究所 理事 坪山良夫 |
| 13:20～14:20 | 基調講演 | 「我が国における大径材需給と利用の未来」
筑波大学生命環境系 立花 敏 氏 |
| 14:20～14:35 | 概要説明 | 森林総合研究所四国支所 研究代表 小林功 |
| 14:35～14:45 | （休憩） | |
| 14:45～15:15 | 成果報告（1） | 「丸太品質評価技術の開発」
森林総合研究所木材加工・特性研究領域 藤本清彦 |
| 15:15～15:45 | 成果報告（2） | 「強度特性の評価」
森林総合研究所構造利用研究領域 加藤英雄 |
| 15:45～16:15 | 成果報告（3） | 「製材・乾燥技術の開発」
森林総合研究所木材加工・特性研究領域 伊神裕司 |
| 16:15～16:40 | ディスカッション | |
| 16:40～16:45 | 閉会挨拶 | 先導プロジェクト専門PO、日本木材保存協会 山本幸一氏 |

問い合わせ先：

大径材強度予測共同研究機関事務局（森林総合研究所内） 藤本清彦、外崎真理雄
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

E-mail: taikeizai-event@ml.affrc.go.jp, Tel: 029-829-8304, Fax: 029-874-3720

参加申し込み

